

看護技術研修(基礎Ⅰ・Ⅱ)

～信頼される安全な看護を目指す～

新卒者67名が看護技術研修(基礎Ⅰ・基礎Ⅱ)を受講しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、学生時代の実習や演習が制限され、十分な実技ができていないという声もありましたが、安心・安楽に配慮した声掛けや安全な技術の実施を意識して取り組んでいました。

4月

経口・直腸与薬

7R確認の重要性を学び、患者状態に応じた与薬方法を考えることができました。



移動・移乗・移送 (車椅子・ストレッチャー)

患者役を経験し「思っていたより段差で揺れを感じた」「どう進むのかわからず不安」など、患者が感じていることを身をもって知ることができました。



左麻痺がある患者を想定して、安全な移乗・移送方法を考えました。



口鼻腔吸引

吸引チューブの進め方に難しさを感じながらも、指導者の助言をもとに実施できていました。



末梢点滴静脈



混注方法や投与時の手技・注意点を学びました。

インスリン療法・皮下注射



インスリン製剤の特徴や注射時のポイント、血糖測定の手技等を学びました。

皮下注射では適切な部位の選択や針の固定方法を意識していました。



輸液・シリンジポンプ



正しいポンプの取り扱いや操作が、患者の安全につながることを認識できました。

アラーム鳴動時の安全な対応を指導者と共に確認しました。



酸素療法



リークチェックや酸素吹き出し口からの確認を正しく行っていました。

静脈採血



お互い患者役となり実際に採血を実施しました。血管の選定が難しいという声が多く聞かれました。

5月・6月

口腔ケア

誤嚥せず効果的に口腔ケアを実施する手順を確認しました。



経尿道的膀胱留置カテーテル



清潔と不潔を区別する必要性と難しさを実感していました。男性モデル・女性モデルを使用し、挿入長の違いに注意しながら実施していました。

筋肉注射

アナフィラキシーショック時のアドレナリン注射と臀部への筋肉注射を実施しました。



浣腸



薬液の注入速度や患者の体位などの注意点を確認しました。患者説明も丁寧に行っていました。